

4 月 13 日：安値拾いの動きから VN 指数は反発

午後に入って投資家による安値拾いの動きが高まり、ベトナム市場は反発した。

ホーチミン市場の VN 指数は 1.51% (21.95 ポイント) 高の 1,477.2 ポイントで取引を終えた。同指数は直近 3 日間に合わせて 67.65 ポイントほど下げていた。

騰落別では 331 銘柄が上昇、126 銘柄が下落した。また上昇銘柄のうち、17 銘柄がストップ高をつけた。

株価は上昇したものの、出来高は前日と比べて減少した。売買高はおよそ 6 億 7,480 万株、売買代金は 22 兆ドン (9 億 6,390 万米ドル) を超えた。

ここ数日の株価の下落は、安値拾いの需要を高めた。そして本日は特に幅広いセクターの大型株に投資家の買いが広がった。VN30 指数は 1.21% (18.19 ポイント) 高の 1,525.39 ポイントで取引を終えた。

騰落別では 27 銘柄が上昇、値下がり銘柄はなく、3 銘柄が変わらずだった。

ベトナムゴム工業グループ (GVR) は 4.55% 高で値上がり寄与度でトップとなった。FPT グループ (FPT) +4.83%、TP バンク (TPB) +5.12%、モバイル・ワールド・インベストメント (MWG) +2.29%、バオベトホールディングス (BVH) +5.5% はそれに続いた。

午後の取引では、ここ数日大きく下げていた不動産株にも買い戻しの動きが見られた。ビンググループ (VIC) +1.11%、ノバランド不動産投資グループ (NVL) +1.76%、ベカメックス IDC (BCM) +2.43%、ビンコムリテール (VRE) +2.41%、DIC 不動産 (DIG) +2.19% がそれぞれ買われた。

ハノイ市場の HNX 指数も安値拾いの動きを受けて反発した。同指数は 1.53% (6.44 ポイント) 高の 427.45 ポイントで取引を終えた。

売買高はおよそ 9,040 万株、売買代金は 2 兆 6,800 億ドンを超えた。

外国人投資家はホーチミン、ハノイ両市場で合わせて 1 兆 5,500 億ドンを買越した。買越し額はホーチミン市場で 1 兆 4,900 億ドン、ハノイ市場で 592 億 7,000 万ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。